

## 英語の授業での活用事例

【内容】ICTを用いて、楽しく積極的に学びに向かう姿を育む

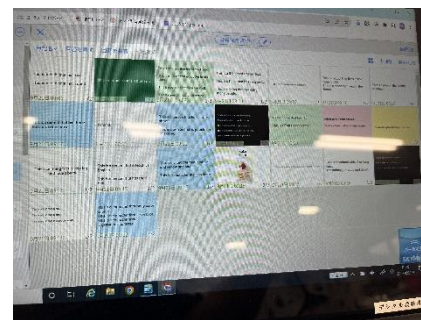
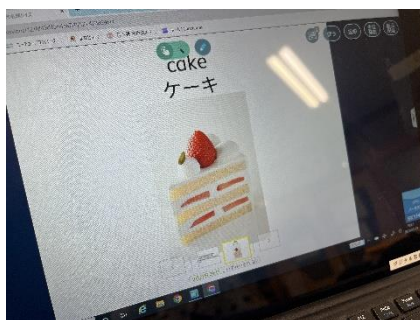
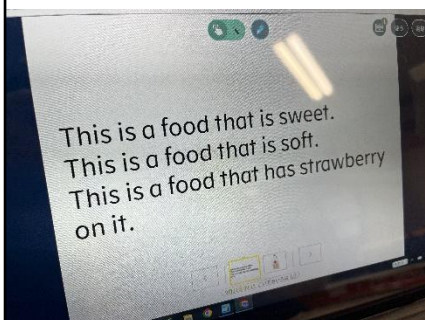
【使用アプリ】①ロイロノート、②Kahoot

【事例紹介】

○3年生 「関係代名詞」の学習

①ロイロノートを活用して、関係代名詞の理解を深めた。

ロイロノートのテキストに、生徒が関係代名詞を使った英文を用いてクイズを作成した。作成したクイズを提出箱に提出し、集まったクイズをみんなで解きながら関係代名詞の活用が正しくできているか確認した。生徒は、みんなが作ったそれぞれのクイズを楽しそうに取り組んでいた。



②Kahootを用いて関係代名詞の理解を深める。

関係代名詞「Who」「Which」「That」を学習後、関係代名詞を用いたクイズをALTが作成した。Kahootを用いてクイズ形式で問題を10問出した。

Kahootの問題は英文で表示されるとともに、ALTが読み上げることで関係代名詞を用いた英文を理解することができた。4択の選択問題にすることで、普段は分からなくて答えられない生徒や発言できない生徒も授業に積極的に参加している様子が見られた。Kahootでは、正答した順番が出たりするので、生徒は一生懸命になっていた。

【終わりに】

①も②もICTを活用して取り組むことで、楽しく学習をすることができた。また、英文を作ることで、英文を共有して正しく活用できているか確かめることもできた。ロイロノートやKahootを活用した授業以外にも、他のアプリも活用しより深みのある学習へとつなげたいと思う。

☆教育委員会指導主事より☆ 授業で児童生徒自身が問題を作り、お互いに解き合う活動は以前からありましたが、印刷し、他の児童生徒に配布する作業がネックでした。この取組は、その問題を一挙に解決していますね。また、Kahoot!を取り入れた事例では、楽しそうに活動している生徒の姿が目につかびます。クイズで引き出した生徒の意欲や「楽しさ」をいかにして協働的な学びへとつなげていくかが、これからの教師の腕の見せ所です。継続した取組をよろしく願います。